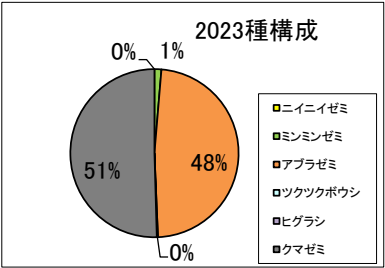


セミの抜け殻調査報告書2023

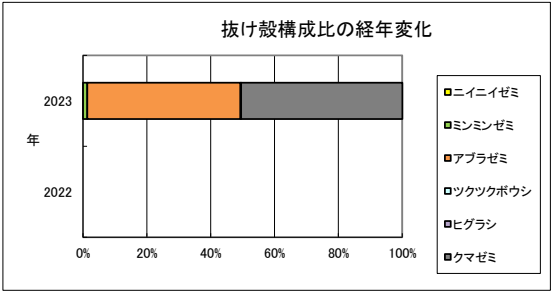
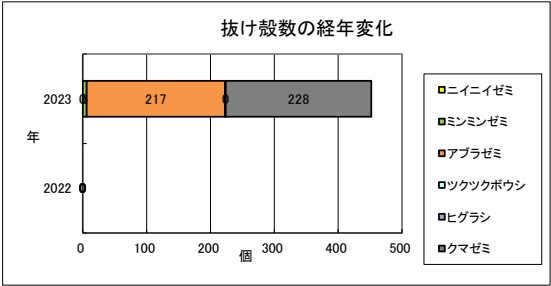
■ 部分を入力 ■ ニイニゼミの♀鑑別は不要(任意で入力できます) ■ ブルダウンから選択 ■ 部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。  
列や行は削除はしないでください。

年度	2023
都道府県名	東京都
調査地名	小平市
サイト名	津田団地口
周辺の環境	平地
調査場所の様子	その他( )
調査場所の地面	土が露出
主担当者	小口治男・野本雅央(8/5・8/19)
再検者	小口治男

調査地参考情報				
声のみを聞いたセミ				
調査地の主な樹木				
調査地関連HP				
調査参加者数				



種	性別	7/19	8/5	8/19	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	2	1	3
ミンミンゼミ	♀	0	2	1	3
ミンミンゼミ	計	0	4	2	6
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	19	47	43	109
アブラゼミ	♀	3	54	51	108
アブラゼミ	計	22	101	94	217
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	1	0	1
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	1	0	1
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	72	31	41	144
クマゼミ	♀	4	33	47	84
クマゼミ	計	76	64	88	228
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		98	170	184	452



集計表	2022	2023
ニイニゼミ	0	0
ミンミンゼミ	0	6
アブラゼミ	0	217
ツクツクボウシ	0	1
ヒグラシ	0	0
クマゼミ	0	228
(自由入力)	0	0
総計	0	452

コメント:(改行:ALT+ENTER)  
クマゼミの抜け殻は、生垣のレッドロビンか、その近くの樹木に集中している。

(以下、ちむくいへ小口氏投稿 2023.9)  
8月の初めの朝、玉川上水の子供観察会のために集合場所の津田団地の内の津田公民館に着くと、周囲の樹木から予想もしないクマゼミの大合唱。ここは西日本かと疑ってしまうほどの異様さです。  
公民館から玉川上水に移動すると、そこはアブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、ニイニゼミの鳴き声が降り注ぐようです。午後、観察会が終わって、公民館に戻るとクマゼミの鳴き声は嘘のように聞こえません。面白いことにクマゼミが鳴くのは午前中のみで、午後1時をすぎると鳴き止んでしまいます。

解散後に周囲の団地でクマゼミの抜け殻を探すと33個が見つかりました。地元の方に伺うと30年ほど前に団地ができた際に、生垣として植えた樹木にクマゼミの幼虫が卵がついてきて、その後、次第に増えたようです。夕方、玉川上水はヒグラシの合唱でした。後日、2回の抜け殻を調査して合計72個が見つかりました。このクマゼミは国内移動による外来種(国内外来種)にされると思いますが、都内でも珍しい6種類のセミが棲息する場所です。

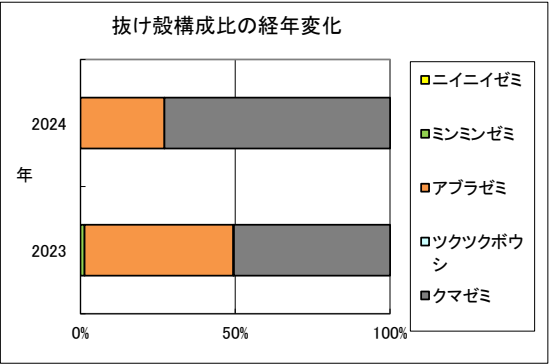
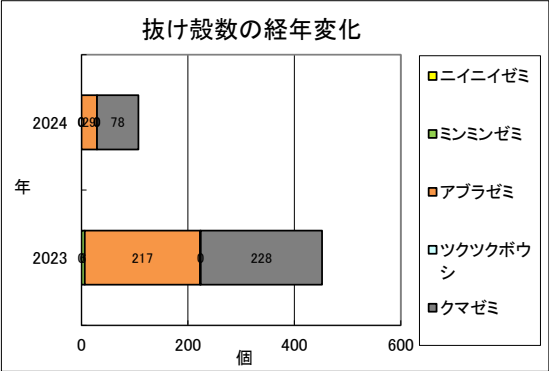
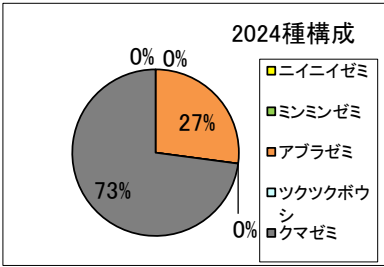
津田団地は30数年前に団地ができた際にレッドロビンに付着してきたクマゼミが移り住んだと団地の住民の方から聞いています。  
また団地に隣接して玉川上水に接し、津田塾大学のキャンパスや小平中央公園も近いです。  
気候の温暖化や乾燥化の影響を考慮して毎年の調査は大切だと思います。

セミの抜け殻調査報告書2024

■ 部分を入力 ■ ニイニゼミの♂♀鑑別は不要(任意で入力できます) ■ ブルダウンから選択  
列や行は削除はしないでください。

年度	2024
都道府県名	東京都
調査地名	小平市
サイト名	津田団地□
周辺の環境	平地
調査場所の様子	その他( )
調査場所の地面	土が露出
主担当者	野本雅央
再検者	野本雅央

調査地参考情報				
声のみを聞いたセミ	ミンミンゼミ、ニイニゼミ			
調査地の主な樹木	レッドロビン、クスノキ、ケヤキほか□			
調査地関連HP				
調査参加者数	大人	3	中学生	小学生 幼児



集計表

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0
アブラゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	217	29
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	228	78
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	452	107

コメント:(改行:ALT+ENTER)  
クマゼミの抜け殻は、生垣のレッドロビンか、その近くの樹木に集中している。  
2023年度は小口さんと分担して団地内で採取  
2024年度は野本だけなので、玉川上水に面した垣根のみで採取。採取範囲は半減している。  
住宅地なので、道路から手を伸ばして採取できる生垣の外側で採取していますので、生垣の内側にあるぬけがらは採取していません。

津田団地 めげがら採集地

2023年: 赤ラインの生垣

2024年: 青ラインの生垣

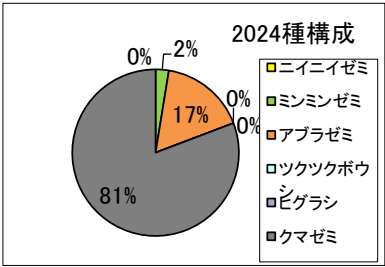


セミの抜け殻調査報告書2025

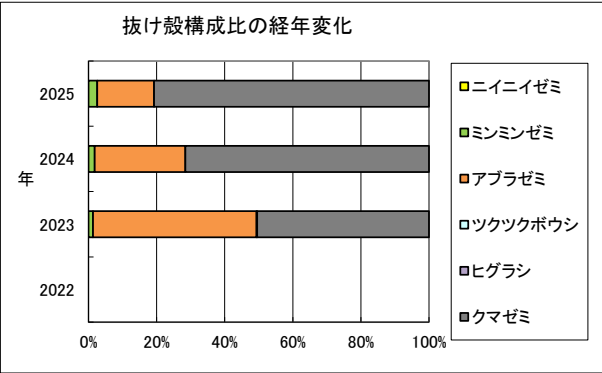
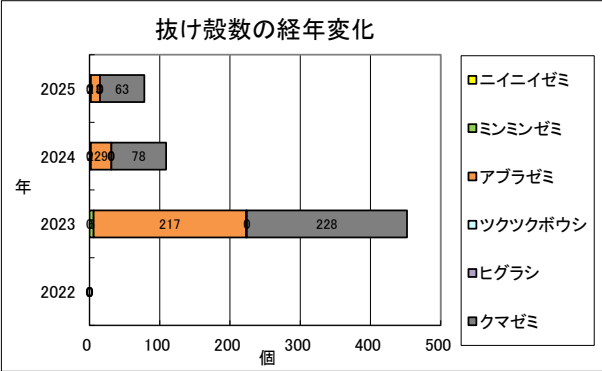
■ 部分を入力 ■ ニイニイゼミの♀♀鑑別は不要(任意で入力できます) ■ ブルダウンから選択  
列や行は削除はしないでください。

年度	2025
都道府県名	東京都
調査地名	小平市
サイト名	津田団地口
周辺の環境	平地
調査場所の様子	その他( )
調査場所の地面	土が露出
主担当者	野本雅央
再検者	野本雅央

調査地参考情報			
声のみを聞いたセミ	ニイニイゼミ、ツクツクボウシ		
調査地の主な樹木	レッドロビン、クスノキ、ケヤキほか口		
調査地関連HP			
調査参加者数	大人3名	中学生	小学生 幼児



種	♀	♂	7/19	8/2	8/16	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	2	0	0	2
ミンミンゼミ	計	0	2	0	0	2
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♀	1	9	1	11	11
アブラゼミ	♂	0	1	1	2	2
アブラゼミ	計	1	10	2	13	13
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	20	9	5	34	34
クマゼミ	♂	8	13	8	29	29
クマゼミ	計	28	22	13	63	63
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0
合計		29	34	15	78	78



集計表

	2022	2023	2024	2025
ニイニイゼミ	0	0	0	0
ミンミンゼミ	0	6	2	2
アブラゼミ	0	217	29	13
ツクツクボウシ	0	1	0	0
ヒグラシ	0	0	0	0
クマゼミ	0	228	78	63
(自由入力)	0	0	0	0
総計	0	452	109	78

コメント:(改行:ALT+ENTER)  
クマゼミの抜け殻は、生垣のレッドロビンか、その近くの樹木に集中している。  
2023年度は小口さんと分担して団地内全域で採取  
2024年度以降は野本だけなので、玉川上水に面した生垣のみで採取。採取範囲は半減している。  
2025年度の3回目では玉川上水に面した生垣では採集できなかった。団地側面の生垣での採集数のみ計上。